

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 10月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	2276600208
法人名	有限会社 ゆい佐久間
事業所名	おおらかハウス
所在地 (電話番号)	浜松市天竜区佐久間町相月2062 (053-982-1480)
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年8月5日

【情報提供票より】(平成20年7月10日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13 年 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.4 人

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	200 円	昼食	250 円
	夕食	300 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(平成20年7月10日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.2 歳	最低	77 歳	最高	90 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	佐久間病院 鈴木診療所 平賀歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

浜松市北部、佐久間町秋葉街道沿いにある1ユニットのホームである。玄関の前に立つと水窪川のせせらぎが光る。大自然に寄り添うような畑から茶、なす、きゅうり等がホームの食卓に届けられる。管理者(オーナー)は地元出身で地域住民からの信頼が高く、運営推進会議設立を期に多方面からの賛同者が増えている。少子高齢化、過疎化の進む地域で、その人らしく“おおらか”に過ごしていただくように職員一同が笑顔で迎えてくれる。地域密着型ホームとして管理者は地域の中で成長していく事を一番の目標にしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善目標とされていた運営推進会議の立ち上げを図り2か月に1回の開催されている。新行政区となり新たな思いで市町村との連携は重要である。ホーム運営の厳しい実情もふまえ、共に乗り越えていただくことを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は管理者を中心に職員とも相談して取り組んだ。新たな評価項目となってやや戸惑いもあったとのことであるが、それぞれの職員が自分のものとして評価の理解を深め、振り返ると共に更なる活動に繋がりたい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議のメンバーは浜松市天竜区の担当課長、地元区長、民生委員、家族代表が参加、4回目の開催であり、徐々に地域に浸透してきている。季刊誌 おおらかだよりにはホームの収支決算報告書をはじめ家族、地域関係者、管理者、職員の貴重な意見が掲載されている。これらの意見を参考に地域密着型ホームとして取り組まれる事を期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情に関しては契約時に説明、書面でも提示している。家族との昼食会で話し合い相談する場面もある。又、年1回のアンケートで家族の意向を聞くようにしている。サービスの向上に繋げようと常に努力している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>山村での開設で、当初から地域との交流は楽しみとされていた。散歩時のふれ合い、地域行事、祭りへの自主参加、学生の実習受け入れ等がある。今後ホームのイベント時(流しそうめん、家族との昼食会等々)に情報提供し、地域の学生、老人会などの参加も視野に入れて地域交流する事をお勧めしたい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域の中でその人らしく、老後を楽しく生きる権利があると管理者は開設当初から独自の理念をつくりあげている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームのパンフレットやホームだより(季刊誌)に謳い、家族職員に浸透させながら日々取り組みに努力している。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時の挨拶はもちろんホームのイベント(流しそうめん等)、祭りなどの地域行事に自主参加している。ホームの自主事業アルミ缶回収は徐々に広まり、地元地域に協力者が増えてきている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者を中心にして職員とも話し合い自分たちの評価として取り組んだ。昨年度の外部評価はホームだよりに掲載、家族、関係者に報告している。その後、運営推進会議設立は改善項目の一つとして取り組んでいる。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地元自治センター地域生活課長をはじめ地域関係者、家族等を誘い2か月に1回開催している。会議での主な意見はホームだよりに掲載し配布している。色々な視点からの意見は素晴らしく、今後のサービス向上に繋げるよう期待されるところである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地元自治センター地域生活課長との情報交換、介護相談員の受け入れをして(月1回)サービス向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的なホームだよりを配布し、ホームの決算報告書なども報告されている。家族参加の昼食会開催など、身近な意見交換も実施して交流に努めている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見が速やかに管理者、職員に出されるように心掛けている。ホーム内の事故による骨折に対する苦情も誠意をもって対応してきている。また、緊急時・終末期の対応について家族アンケートを実施している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設当初から継続の職員達を中心に支援され、比較的異動が少ないホームである。職員ローテーションのカバーは主に隣家に居住する管理者が担当している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域的なハンデもあり外部研修に自由に参加出来るわけではない。管理者は可能な範囲で職員に研修参加を勧めている。そして、参加者はそれを持ち帰り職員会議で報告し、話し合い共有している。	○	ローテーションの中での研修対策は苦慮するところであるが、働く者の意欲に繋がる。おおらかハウスの研修体制を皆で相談し検討される事をお勧めしたい。OJTを含め、応募者のあることを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	過去に地域の他グループホームとの交流を経験したことがある。管理者は今後、北遠事業所連絡会での交流成果を期待している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族が安心し納得した上でサービスを利用できるよう、見学を中心に家族と十分話し合いながら馴染めるように支援している。家族と一緒に食事をする、また、希望により家族の宿泊の受け入れも可能な状態にある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食後に下膳することを習慣にしているが、利用者の日常生活レベルが少しずつ低下してきている。馴染みの職員との会話、テレビ鑑賞、散歩等その日の体調に合わせて支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日頃の何気ない行動や会話に意識して関わる中で、ひとり一人の希望や意向を把握し、確認するようにしている。把握が困難な時は家族の意見を参考にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常的には朝・夕の申し送りの際、タイムリーに利用者の情報交換を行い、その都度介護計画に反映できるようにしている。月2回の職員会議は常勤職員は全員参加し、個別の介護計画について話し合い作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は職員会議等により定期的に見直しを行い、家族との話し合いのもと新たな計画書を作成しているが、介護計画書に家族の承諾印のないものが見られる。	○	利用者の状態変化に応じて関係者と話し合い、作成した介護計画書は確認の為に家族の承諾印が得られるよう改善が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の医療機関等への受診は家族の状況に応じて臨機応変に支援できるよう取り組んでいる。また、ホーム近隣に住んでいる看護師とは24時間気軽に相談出来る関係にある。		
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を尊重し、できるだけ馴染みの医師による診療が受けられるようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、年1回アンケート形式で家族の意向を把握するようにしているが、利用者の状態の変化に応じて、その都度、本人や家族、かかりつけ医と話し合いを持ち情報を共有化している。		
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の言葉かけは優しく、さりげなく支援するようにしている。利用者の介護記録等は事務室で保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ本人のペースに合わせた生活時間を尊重した日課になるよう支援している。食事のとき等にさりげなく本人の希望を汲み取るようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホーム敷地内では野菜を栽培しており、旬の食材や新鮮なものを利用した食事を工夫している。食事の準備や片付け、漬物作りなど、利用者個々の持てる力にあわせ、一緒に行えるよう声をかけている。職員は利用者とテーブルを囲み、同じものを一緒に味わいながらゆったりと食事を摂っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人の希望を取り入れながら一日おきに行っている。入浴前にはバイタルチェックを行い安心して入浴を楽しむことができるよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑での野菜作りや食事の支度など以前できたことが毎年少しずつ出来にくくなりつつある中、利用者は互いに車椅子を押しつたり押されたり、それぞれが出来るところを助け合いながら暮らしている。又、日課として行っている内職仕事は社会とのつながりを持つことができ、ささやかでも収入を得る事は楽しみでやりがいとなっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	山と川に囲まれた豊かな自然環境のもと、散歩は冬でも日常的に行っている。また、神社への初詣、花見、川原でのバーベキュー、電車に乗って食事に行く、近隣住民を誘って観劇に行く等、季節ごとの行事を通じてひとり一人の希望が実現できるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関は施錠せず、利用者は自由に出入りできるようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域住民が気軽にホームに立ち寄る機会が多くあり、災害時は近所の人が駆けつけるなど協力が得やすい関係が築かれている。消防署による避難訓練及び火事や地震を想定したホーム独自の訓練を年2回実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の食べる力に合わせて十分な栄養が取れるよう食事の形態など工夫している。食事量や水分補給の有無の記載はされているが水分量の記録はしていない。また、献立表にカロリーが明記されていない。	○	栄養のバランス、水分補給も含め一日の総摂取量が分かるような工夫をしてそれぞれの利用者の健康管理に活用したり、或いは家族への連絡に活用されることをお勧めしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの玄関や裏庭には草花や野菜が植えられ日常的に季節の変化が感じられるようにしている。広々とした居間に続く和室は利用者が腰をかけやすい高さとなっており、冬にはこたつでのんびり過ごすことができる。手作りの木製のベンチをはじめ、ホーム全体に木のぬくもりが感じられ家庭的で心地よい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳敷きの居室は温かく落ち着いた雰囲気がある。仏壇や家具小物に至るまで利用者の好むものや、使い慣れた品々が和の空間にほどよく調和され、心地よく過ごせるよう工夫されている。また、各部屋にはトイレ・洗面台が備え付けられ、安心して暮らせる生活環境となっている。		